

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	学科長・教授
氏名（フリガナ）	吉田 収（ヨシダ オサム）
最終学歴	武蔵野美術大学 造形学部油絵学科
保有学位	芸術学士
主な職歴	武蔵野美術大学 助手(1987 年) 小田原女子短期大学専任講師（2004 年） 小田原女子短期大学助教（2008 年） 小田原女子短期大学准教授（2011 年）※2014 年より小田原短期大学 小田原短期大学教授（2017 年）
専門分野	彫刻
研究テーマ	造形全般
担当授業科目	【1 年】造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ、表現（造形）、【2 年】造形表現指導法、表現実践～造形遊び～、卒業研究(ゼミナール)、サービスラーニング
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における表現の教育についての一考察～「五感を使った表現」の授業の試み～」(共著) 2011 年本学研究紀要・保育学会ポスター発表 【著書】 ・生活事例から始める造形表現(共著) 青踏社 2015 年 ・現場のエピソードに学ぶ保育士受験対策講座(共著)2017 年日本教育クリエイト ・保育の計画と評価～豊富な例で 1 からわかる(共著)2018 年萌文書林 【その他】(展覧会) ・「和み」展(共催)2012 年 Gallery hippo ・「蔦谷」展(共催)2013 年書店「蔦谷 代官山」 ・個展(単独)2015 年ギャラリーなつか ・個展(単独)2016 年トキ・アートスペース ・個展(単独)2017 年ギャラリーなつか ・小田原城アート now2018(共催)2018 年 報徳博物館 ・「植物区」展 2018 年(共催)ギャラリーなつか ・小田原城アート now2019(共催)2019 年、小田原城天守閣、報徳博物館 ・和文化・室礼 2019 小田原 清閑亭、新春アート展 2020 小田原うめこ ・小田原城アート now2021 (共催)2021 年 小田原城天守閣 ・個展(単独)2021 年 ギャラリーなつか ・「梅華展」三の丸ホール、「植物区」展 2022 年 ギャラリーなつか 【資格】 ・中学校教諭 1 種免許(美術)、高等学校教諭 1 種免許(美術)
所属学会	
主な社会活動	箱根町子ども子育て会議委員(委員長)

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	図書館長・教授
氏名（フリガナ）	今泉明美（イマイズミ アケミ）
最終学歴	武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業 東京学芸大学大学院教育研究科音楽教育専攻声楽講座修士課程修了 ウエストミンスタークワイヤー大学（米国）にて（声楽・ピアノ）3セメスター単位取得
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	・小田原女子短期大学准教授（2004 年）※2014 年 4 月より小田原短期大学 ・小田原短期大学教授（2010 年～現在） ・学生指導支援委員会委員長（2012～2015） ・小田原短期大学図書館長（2016 年～現在）
専門分野	音楽教育（声楽・保育者養成における音楽表現授業・乳幼児の音楽表現）
研究テーマ	保育者養成校の音楽表現授業、声の表現、乳幼児の音楽的育ち、保育者研修
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、表現（音楽）、音楽表現指導法、ピアノ弾き歌い、卒業研究ゼミナール、サービスラーニング、リズムあそび
教育研究業績	【論文】 ・「音楽的要素から検討した保育者養成課程の音楽教育（１）～リズムを中心に～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年 3 月発行）他 ・「ピアノ弾き歌い授業における学習成果の検討～ハイブリッド型授業での試みを通して（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号・2022 年 3 月発行）他 【著書】 ・「子どものための音楽表現技術（共編著）」（萌文書林・2017 年） ・「保育の計画と評価（共著）」（萌文書林・2018 年） ・「保育のためのやさしい子どもの歌～弾き歌い・合奏・連弾・合唱（共編著）」（ミネルヴァ司書房・2023 年）他 【その他】 ・2023 年度全国大学音楽教育学会 第 38 回全国大会研究演奏発表「小田原で生まれた白秋童謡・歌曲『からたちの花』他 3 曲の独唱 ・2023 年度学長裁量経費受託事業による DVD「おだたんくらぶ幼児教室～四季の活動」制作（共同） ・「保育者養成課程における音楽表現教育と地域の音楽文化についての一考察 白秋童謡の町「小田原」」（日本保育学会第 79 回大会ポスター発表 2024 年） ・「ベルカント茅ヶ崎～クラシックヴォーカルコンサート（共同）」（2021～2023 年茅ヶ崎市民文化会館）に出演他 【資格】・中学校教諭一級普通免許音楽・高等学校教諭一級普通免許音楽
所属学会	日本保育学会、日本音楽教育学会、全国大学音楽教育学会、日本声楽発声学会、日本オルフ音楽教育研究会、幼児音楽研究会
主な社会活動	神奈川県立大井高等学校運営協議会委員長、保育現場での音楽表現活動講師、本学乳幼児研究所研究員・2019 年度全国保育士協議会永年貢献表彰

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	間野 百子（マノ モモコ）
最終学歴	東京大学大学院教育学研究科総合教育科学専攻博士後期課程単位取得満期退学
保有学位	修士（教育学）博士（子ども学）
主な職歴	小田原短期大学教授（2014 年 4 月～）
専門分野	教育学（教育社会学、青少年問題、世代間交流）子ども学、幼児教育学
研究テーマ	課題を抱える子ども・若者支援、体験格差、対人援助ボランティアの学び
担当授業科目	教育社会学、幼児理解の理論と方法、保育・教育実践演習、卒業研究、サービス・ラーニング、基礎学力演習Ⅰ
教育研究業績	【論文】 ・「成人教育におけるセルフ・ヘルプ活動の役割—米国の『祖父母の会』に着目して（単著）」（『アメリカ教育学会紀要』第 20 号、2009 年、pp.58-69） ・「米国における祖父母と孫の世代間家族の現状と課題—孫を養育する祖父母支援に焦点をあてて（単著）」（『日本世代間交流学会誌』第 2 号、2012 年、pp.9-17） ・「課題を抱える少年支援ボランティアは活動をどのように体験するか（単著）」（『日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要』第 32 号、2019 年、pp.17-28） ・「少年支援ボランティアの長期継続を通じた援助成果の認識—BBS 会『ともだち活動』体験者の継時的変化に焦点をあてて」（単著）」（『更生保護学研究』日本更生保護学会、第 15 号、2019 年、pp.3-12） ・「課題を抱える少年と BBS(Big Brothers and Sisters) 会ボランティア援助者の相互交流プロセス—複線径路等性アプローチ(TEA Trajectory Equifinality Approach) による分析（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 51 号、2021 年、pp.33-44） ・「課題を抱える少年支援におけるボランティア援助者の役割—長期継続者の学びに着目して（単著）」（『小田原短期大学紀要』第 53 号、2023 年、pp.55-71） 【著書】 ・『世代間交流学の創造—無縁社会から多世代間交流型社会の実現のために（共編著）』（あけび書房、2010 年 12 月） ・「ラーニング・ストーリーによる子ども理解の深まり（単著）」（野津直樹・宮川萬寿美編著『保育・教職実践演習—実践力のある保育者を目指して』萌文書林、2023 年） 【その他】 ・生涯学習の学習需要の実態とその長期的変化に関する調査研究報告書」文部科学省 国立教育政策研究所生涯学習政策研究部、立田慶裕研究代表（2010～2012 年度）国立教育政策研究所 他 【資格】 ・中学校教諭免許一級普通免許・高等学校教諭免許二級普通免許（英語科）
所属学会	日本教育学会、日本社会教育学会、日本福祉教育・ボランティア学習学会、日本更生保護学会、日本社会福祉学会、日本世代間交流学会 他
主な社会活動	日本世代間交流協会 他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	有村さやか（アリムラサヤカ）
最終学歴	東京学芸大学大学院教育学研究科修士課程音楽教育専攻修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原女子短期大学保育学科専任講師・助教（2006 年） 小田原女子短期大学保育学科准教授（2011 年） 小田原短期大学保育学科教授（2020 年）
専門分野	作曲表現、音楽教育（幼児教育、保育者養成）
研究テーマ	作曲表現、乳幼児の音楽教育、保育者養成
担当授業科目	表現指導法、音楽表現Ⅱ、ピアノ弾き歌い、卒業研究ゼミナール、サービスラーニング、おだたん人間成長講座、表現実践
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成における音楽技能の教育についての一考察Ⅳ～10 年後再調査の現状と課題～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 50 号 2020 年） ・「ピアノ弾き歌い授業における学習成果の検討～ハイブリッド型授業での試みを通して～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号 2022 年） 【著書】 ・「保育入門テキスト（共著）」（萌文書林出版・2015 年） ・「オルフ・シュールヴェルクの研究と実践（共著）」（朝日出版・2015 年） ・「幼稚園教諭・保育士養成課程 子どものための音楽表現技術―感性と実践力豊かな保育者へ―（編著）」（萌文書林出版・2017 年） ・「保育のためのやさしい子どもの歌（編著）」（ミネルヴァ書房出版・2023 年） 【その他】 ・「The shadow of air – for Guiter and Contrabass」（作品発表 於:第 14 回嶺南国際現代音楽祭日本人作曲家招聘作品 2011 年） ・「Expression for Flute solo」（作品発表・演奏指導 於:第 36 回九州・沖縄国際現代音楽祭/『音楽現代 2016 年 11 月号』（芸術現代社）批評掲載 2016 年） 【資格】 ・中学校教諭専修免許（音楽）・高等学校教諭専修免許状（音楽） ・司書教諭資格
所属学会	九州作曲家協会、日本音楽教育学会、日本保育学会、幼児音楽研究会、日本オルフ音楽教育研究会
主な社会活動	日本オルフ音楽教育研究会、神奈川県保育エキスパート等研修講師、子ども園音楽講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	野津 直樹（ノヅ ナオキ）
最終学歴	玉川大学大学院文学研究科教育学専攻
保有学位	学士（法学） 修士（文学）
主な職歴	小田原女子短期大学助教（2008 年） 小田原短期大学講師（2014 年） 小田原短期大学准教授（2016 年） 小田原短期大学教授（2024 年）
専門分野	教育学、子ども学
研究テーマ	保育者としての葛藤と成長 新型コロナウイルス感染症影響下における保育者の葛藤 ドキュメンテーションの導入と活用 等
担当授業科目	保育者論、環境、環境指導法、保育・教職実践演習（幼稚園）、教育実習、 教育実習指導、ゼミナール、サービ斯拉ーニング、生活実践Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「ドキュメンテーションの導入と活用」（「小田原短期大学研究紀要」第 53 号・2023 年） ・「新型コロナウイルス感染症影響下における一保育所の現状（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年） ・「新型コロナウイルス感染症流行下において教育実習における学びを保障するための教育プログラム開発について（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 51 号・2021 年） ・「地域子育てひろばを活用した乳幼児家庭全戸支援（1）～小田原モデルの研究と試行～（共著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 45 号・2015 年） 【著書】 ・「保育・教職実践演習 実践力のある保育者を目指して（編著）」（萌文書林・2023 年） ・「保育者論―主体性のある保育者を目指して―（編著）」（萌文書林・2020 年） ・「保育する力（共著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「保育の計画と評価 豊富な例で 1 からわかる（共著）」（萌文書林・2018 年）
所属学会	日本保育学会 こども環境学会 日本児童学会
主な社会活動	社会福祉法人国府津保育園会評議員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	上野 文枝（ウエノ フミエ）
最終学歴	奈良女子大学大学院人間文化研究科社会生活環境学専攻博士後期課程満期退学
保有学位	修士（家政学、社会福祉学）
主な職歴	社会福祉法人東京都福祉事業協会母子生活支援施設スタルト方南母子指導員（現：母子支援員）（1998 年） 東萌保育専門学校（現：埼玉東萌短期大学）専任講師(2005 年) 皇学館大学社会福祉学部助手（2007 年）、同学部助教(2008 年) 皇学館大学現代日本社会学部助教（2013 年） 小田原短期大学専任講師（2015 年）、准教授（2019 年）
専門分野	社会福祉学（子ども家庭福祉、社会的養護）、ジェンダー学
研究テーマ	母子家庭の現状と対策、児童虐待の現状と対策、不適切保育の防止
担当授業科目	社会的養護Ⅰ・Ⅱ、保育実習指導(施設)、子育て支援
教育研究業績	【論文】 ・「母子家庭の自立支援の現状と課題—元母子生活支援施設利用者へのインタビュー調査から—」（単著）（皇学館大学社会福祉論集第 11 号、2009 年） ・「現代日本における教育と福祉の共同—スクールソーシャルワーカー活用事業の経緯と今後の展望—」（単著）(皇学館大学社会福祉学部紀要No.13、2011 年) ・「母子寮及び父子寮に関する研究—ひとり親家庭に対する施策の変遷について—」(単著)（日本ジェンダー研究第 17 号、2014 年） ・「台湾におけるオルターナティブな出産としての「やさしい出産」—新たな助産師教育課程修了生の活動する出産施設調査から—」(共著)（千里金欄大学紀要、2020 年） 【著書】 ・「事例でわかる保育士受験対策講座社会的養護」（単著）(株)クリエイト、2016 年) ・「保育する力」(共著)(ミネルヴァ書房、2018 年) ・「よりそい支える社会的養護Ⅰ・Ⅱ」(共著)(教育情報出版、2019 年) ・「実習生の日誌事例から考察する社会的養護Ⅱ」(共著)(大学図書出版、2020 年) ・「保育者論—主体性のある保育者を目指して」（共著）（萌文書林、2020 年） ・「保育・教職実践演習 実践力のある保育者を目指して」(共著)(萌文書林、2023 年) 【その他】 ・「保育者による子ども虐待及び不適切な保育の防止について～被措置児童等虐待対応ガイドラインを参考に～」(単著)（小田原短期大学紀要第 49 号、2019 年） 【資格】 ・中学校教諭・高校教諭 1 級免許家庭、社会福祉士
所属学会	日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会、日本子ども虐待防止学会、日本ジェンダー学会、日本家政学会家族関係学部会、日本保育者養成教育学会
主な社会活動	かながわ福祉サービス第三者評価推進機構評価調査者養成研修部会委員、他

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	小倉 直子（オグラ ナオコ）
最終学歴	京都大学 教育学部 教育学科 卒業 龍谷大学 文学研究科 教育学専攻（教育心理学） 修士課程 修了 龍谷大学 文学研究科 教育学専攻（教育心理学） 博士後期課程 単位取得満期退学
保有学位	学士（教育学）、修士（文学）
主な職歴	横田小児科医院「発達と育児の相談室」 発達相談員、近隣自治体における乳幼児健診、発達相談、療育教室、就学相談、教育相談、園巡回相談など 小田原短期大学 保育学科 非常勤講師（2014 年） 小田原短期大学 保育学科 特任講師（2015 年） 小田原短期大学 保育学科 専任講師（2016 年） 小田原短期大学 保育学科 准教授（2021 年）
専門分野	発達心理学、障害児保育、特別支援教育
研究テーマ	1 歳児の発達、保護者支援（ペアレント・トレーニング）、地域発達臨床、ほか
担当授業科目	障害児保育、特別支援教育・保育概論、言葉指導法、生活実践Ⅱ「子どもの発達と遊び」、保育実習指導ⅠA・ⅠB、保育実習Ⅰ（施設）・Ⅲ、卒業研究（ゼミナール）、サービスマーケティング、おだたん人間成長講座Ⅰ・ⅡC コース学内イベントグループ
教育研究業績	【論文】 ・研究ノート「自治体の子育て支援システム構築におけるペアレント・トレーニングのあり方について（1）効果測定の方法」（小田原短期大学紀要第 50 号・2020） 【著書】 ・「生活事例から始める保育の心理学（共著）」（青踏社・2015 年） ・「保育者のための障害児保育 ー理解と実践（共著）」（萌文書林・2016 年） ・「保育内容「言葉」指導法（共著・編著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「保育する力（共著）」（ミネルヴァ書房・2018 年） ・「実践につながる新しい保育の心理学（共著）」（ミネルヴァ書房・2019 年） ・「新・育ちあう乳幼児心理学（共著）」（有斐閣コンパクト・2019 年） ・「保育学生のための「幼児と言葉」「言葉指導法」」（ミネルヴァ書房・2022 年） ・「応用心理学ハンドブック（共著）」（福村出版・2022 年） 【資格】 応用心理士 第 222 号、臨床心理士 第 17834 号
所属学会	日本応用心理学会、心理科学研究会、日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本臨床心理士会、日本特殊教育学会、全国障害者問題研究会、全国保育団体合同研究会
主な社会活動	コスモスの会（湘南心理研究会）会長、社会福祉法人泉会 理事、小田原市就学支援委員会 委員、南足柄市子ども・子育て会議 委員、西湘子ども発達研究会、支援教育実践研究会、現職保育者研究会、ほか

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	杉崎 雅子（スギザキ マサコ）
最終学歴	早稲田大学大学院教育学研究科学校教育専攻修士課程修了
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学専任講師（2017 年） 小田原短期大学准教授（2021 年）
専門分野	心理学（臨床心理学、教育相談）
研究テーマ	教育相談体制構築、スクールカウンセラー、移行期支援
担当授業科目	保育の心理学Ⅰ、子ども家庭支援の心理学、教育相談、教育相談・生徒指導の理論と方法、保育実習指導ⅠA・Ⅱ、保育実習Ⅰ（保育所）・Ⅱ、卒業研究（ゼミナール）、サービ斯拉ーニング、おだたん人間成長講座Bコース心理セッション
教育研究業績	【論文】 ・「School counselor perceptions of factors facilitating transitional support: Focus group interviews with school counselors（共著）」（『Psychology in the Schools』第60巻12号・2023年） ・「幼稚園等のニーズに応じた研修内容の提案 -全国調査に基づく特別支援教育の現状から-（共著）」（『日本乳幼児教育・保育者養成研究』第2号・2022年） ・「スクールカウンセラーの移行期支援の認識と行動に関する研究—尺度作成と影響因の検討—（共著）」（『カウンセリング研究』第55号・2022年） 【著書】 ・「少しの工夫で変わる！気になる子が過ごしやすくなる保育の環境構成（共著）」（中央法規出版・2024年） ・「スギ先生と考える子ども家庭支援の心理学（単著）」（萌文書林・2021年） 【その他】 ・「特別な配慮を必要とする幼児の幼保小接続期における切れ目ない支援の実現に向けた調査研究（共著）」（文部科学省委託「幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業」報告書・2024年） ・「特別な配慮を要する幼児を含む教育・保育の実践課題に関する実態調査（共著）」（文部科学省委託調査研究報告書・2020年） 【資格】 ・公認心理師 ・臨床心理士 ・学校心理士スーパーバイザー
所属学会	日本発達心理学会、日本教育心理学会、日本心理臨床学会、日本学校心理学会、日本カウンセリング学会、乳幼児教育・保育者養成学会
主な社会活動	NPO 法人神奈川県スクールカウンセラー協会理事、NPO 法人あらたまスクールカウンセリングセンター理事、湘南心理研究会「コスモスの会」運営委員、花王株式会社ヒト試験研究倫理委員会委員、神奈川県立二宮高等学校学校運営協議会委員、児童養護施設ゆりかご園理事、小田原市いじめ防止対策調査会委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	山本 華子（ヤマモト ハナコ）
最終学歴	東京藝術大学大学院音楽研究科 音楽学専攻 博士課程修了
保有学位	修士(音楽)、博士(音楽学)
主な職歴	小田原短期大学 専任講師（2017 年） 小田原短期大学 准教授（2021 年）
専門分野	音楽学（民族音楽学、日本・東洋音楽史）、幼児音楽教育
研究テーマ	保育者養成、異文化理解、伝統音楽を用いた音遊び、ボランティア活動、学習支援
担当授業科目	「海外文化事情」「保育実習指導ⅠA」「保育実習指導Ⅱ」「ボランティア活動」「表現実践」「おだたん人間成長講座」「サービスマーケティング」「卒業研究（ゼミナール）」
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成課程における「ボランティア活動」の授業に関する研究（3）－コロナ禍における物を介したボランティア活動－（共著）」（『小田原短期大学研究紀要』第53号、2023年） ・「「よさこい文化」の幼児音楽教育への導入 1：序論（共著）」（『洗足論叢』第51号、2023年）他 【著書】 ・『越境する雅楽文化（共著）』（書肆フローラ、2009年） ・『李王職雅楽部の研究－植民地時代朝鮮の宮廷音楽伝承（単著）』（書肆フローラ、2011年） ・『教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）』（萌文書林、2018年、2022年） ・『保育のためのやさしい子どもの歌（共著）』（ミネルヴァ書房、2023年）他 【口頭発表】 “Learning Japanese Traditional Music beyond the Boundaries” ICTM MEA Conference 2018, Seoul, South Korea（共同発表）他 【その他】 ・科学研究費助成による研究「日本の伝統音楽文化の特質に根ざした音楽科教材開発と授業プログラム作成」（研究分担者として参加、2012～2015年） 【資格】 ・中学校教諭一種免許【音楽】 ・高等学校教諭一種免許【音楽】 ・英語検定準1級
所属学会	日本保育学会、東洋音楽学会、日本音楽学会、日本音楽教育学会、日本学校音楽教育実践学会、韓国・朝鮮文化研究会
主な社会活動	小田原短期大学乳幼児研究所研究員、横浜女子短期大学保育センター研修講師、日韓文化交流、コロンビア大学 MP プログラムコーディネータ

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	内山 絵美子（ウチヤマ エミコ）
最終学歴	筑波大学人間総合科学研究科教育基礎学専攻 博士後期課程 単位取得退学
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	小田原短期大学助教（2014 年）→小田原短期大学専任講師（2017 年～）→小田原短期大学准教授（2024 年） 玉川大学非常勤講師、星槎大学大学院非常勤講師、山梨県立大学非常勤講師、東京学芸大学非常勤講師
専門分野	教育行政、教育経営、教育制度
研究テーマ	教育政策形成過程、地方自治体の教育政策、学校経営、保育カリキュラム
担当授業科目	教育制度論、保育カリキュラム論、日本国憲法、職業と社会、教育実習／教育実習指導
教育研究業績	【論文】 ・Digital Transformation in Primary and Secondary Education in Japan : <i>Emerging Trends and Historical Perspectives Surrounding Digital Transformation in Education: Achieving Open and Blended Learning Environments</i>, IGI Global （2023）〔分担執筆・査読有〕 ・「保育者養成課程における「ボランティア活動」の授業に関する研究（3）－コロナ禍における物を介したボランティア活動－」（『小田原短期大学研究紀要』第 52 号、2022、研究ノート）〔共著・査読有〕 ・「学校現場における授業スタンダードの普及－作成のプロセスと活用の実態に焦点を当てて－」（『日本教育行政学会年報』第 44 号、2018）〔単著・査読有〕 ・「学校マネジメント研究の国際動向～学校財務に焦点を当てて～」（『小田原短期大学研究紀要』第 45 号、2015）〔単著・査読有〕 【著書】 ・『保育士・教員のための憲法』（八千代出版、2024）〔分担執筆〕 ・『新訂 2 版 JSCP 双書 3 保育者・幼稚園教諭のための教育制度論 ～この 1 冊で基礎から学ぶ～』（教育開発研究所、2023）〔編著〕 ・『第 3 版 保育の計画と評価～豊富な例で一からわかる～』（萌文書林、2023）〔分担執筆〕 ・『学校教育制度概論（第 3 版）』（玉川大学出版会、2022）〔分担執筆〕 ・『予算財務で学校マネジメントが変わる』（学事出版、2016）〔分担執筆〕 【その他】 ・ポスター発表「コロナ禍を経た保育者養成課程におけるボランティア活動の展開－対面・非対面の手法を組み合わせた地域貢献－」（日本保育学会第 56 回大会、2023 年）共著
所属学会	日本教育行政学会、日本教育経営学会、日本教育制度学会、日本教育政策学会、日本スクールコンプライアンス学会、教師教育学会、日本保育学会
主な社会活動	小田原市新しい学校づくり検討委員会、小田原市幼児教育・保育アドバイザー事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	中山 貴太（ナカヤマ タカヒロ）
最終学歴	順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ社会学領域スポーツマネジメント学専門 修了
保有学位	修士（スポーツ健康科学）
主な職歴	医療法人静和会 浅井病院（2012 年～2015 年まで） 社会福祉法人ゆりの木会 ゆりの木苑（2012 年～2015 年まで） 小田原短期大学助教（2015 年～2018 年） 小田原短期大学専任講師（2019 年～）
専門分野	スポーツ経営学、スポーツマネジメント学、スポーツ心理学、
研究テーマ	コーチング、保育マネジメント、保健
担当授業科目	教育実習、教育実習指導、身体表現Ⅰ、子どもの健康と安全ほか
教育研究業績	【論文】 ・『保育者養成課程の学生のレジリエンスの検討―自己教育力と職業レディネスとの関連に着目して―』（共著）（小田原短期大学紀要第 47 号、125-128 頁・2017 年） ・『アクティブラーニング型授業の学習効果に関する基礎的研究～短縮版尺度の作成と信頼性と妥当性の検討』（共著）（小田原短期大学紀要第 48 号、1-8 頁・2018 年） 【著書】 ・『楽しく学ぶ運動遊びのすすめ ポートフォリオを活用した保育実践力の探求』（共著）（みらい・2017 年） ・『保育する力』（共著）（ミネルヴァ書房・2018 年） ・『教育実習・保育実習 幼稚園保育所の実習にそなえて』（共著）（青踏社・2018 年） ・『新版 保育者をめざす保育内容「健康」』（共著）（圭文社・2019 年） ・『保育者論―主体性のある保育者を目指して』（共著）（萌文書林・2020 年） 【資格】 ・高等学校教諭専修免許状（保健体育） ・中学校教諭専修免許状（保健体育） ・日本サッカー協会公認 C 級コーチライセンス（日本体育協会公認指導員） ・日本サッカー協会公認キッズリーダー（ALL）
所属学会	人類動態学会 日本体育学会 日本スポーツ心理学会 日本幼児体育学会 アジア幼児体育学会
主な社会活動	開成町「初めての三歳児講座（旧：三歳児学級）～運動神経が良くなる運動あそび～」講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通学課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	竹内 あゆみ(タケウチ アユミ)
最終学歴	東京家政大学大学院人間生活学総合研究科 児童学児童教育学専攻修士課程修了
保有学位	修士(家政学)
主な職歴	相模つばさ幼稚園 幼稚園教諭(2000 年) 日本児童教育専門学校 職員(2009 年) 聖ヶ丘教育福祉専門学校 非常勤講師(2014 年) 聖ヶ丘教育福祉専門学校 専任講師(2015 年) 小田原短期大学保育学科 専任講師(2021 年)
専門分野	保育学
研究テーマ	積み木遊び、フレーベルの恩物、玩具を媒介とした関わり
担当授業科目	人間関係、人間関係指導法、こどもアートコース「おもちゃ作り」、保育実習指導 IA、保育実習指導 II、保育実習 I(保育所)、保育実習 II(保育所)、保育・教職実践演習（幼稚園）、卒業研究(ゼミナール)、サービスラーニング
教育研究業績	【論文】 ・「物を媒介とした幼児のかかわりから見えるもの―他者と同じものを持つ姿に着目して―(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2016 年) ・「幼児の表現行為に関する一考察―R 児とのかかわりを通して―(単著)」(星美学園短期大学研論叢 49 号 2017 年) ・「家庭での乳児の遊びに関する意識調査 I-保護者アンケートによる一考察-(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2020 年) ・「保育学生の積み木遊びに対するイメージ～養成校におけるアンケート調査の結果から～(単著)」(聖ヶ丘教育福祉専門学校紀要 2023 年) 【著書】 ・『子どもの姿からはじめる 領域・人間関係(共著)』(株式会社みらい 2022 年) ・『保育・教職実践演習：実践力のある保育者を目指して(共著)』(萌文書林 2022 年) ・『実践につながる新しい保育内容「人間関係」(共著)』(ミネルヴァ書房) 他 【その他】 ・「園内研修における新任保育士の意識変容～保育の可視化により子どもの育ちを保護者と共有する～(単著)」(日本保育学会第 69 回 発表 2016 年) 【資格】 ・幼稚園教諭専修免許、保育士資格 ・童具館アトリエ認定講師、おもちゃコンサルタント、おもちゃコーディネーターR
所属学会	日本保育学会、日本乳幼児教育学会、日本保育者養成教育学会 認定 NPO 法人芸術と遊び創造協会、和久創造共育普及協会
主な社会活動	・海老名市立子育て支援センターすくすく「おもちゃの広場」講師

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	特任教授
氏名（フリガナ）	宮川 萬寿美 （ミヤカワ マスミ）
最終学歴	お茶の水女子大学 大学院 家政学研究科 児童学専攻
保有学位	修士(児童学)
主な職歴	小田原短期女子大学 保育学科准教授を経て教授 （校名変更） 小田原短期大学 特任教授 小田原短期大学 乳幼児研究所所長
専門分野	児童学(保育、発達臨床)
研究テーマ	保育実践、心理劇
担当授業科目	保育原理、保育内容総論 I、保育実習指導 1A・II、保育実習、生活実践（保育と心理学）、言語表現、保育内容言語、通信課程も担当あり
教育研究業績	【論文】 ・地域の祭りをきっかけとした保育内容―地域文化の継承と創造―(共著)(「保育士養成協議会研究大会発表」2014) ・子どもの発達を総合的に促す保育活動の研究(2) 箱根町ソーラン踊りを通して(共著)(「小田原短期大学紀要」第 46 号・研究ノート 2016) ・発達臨床における子どもの自己のありように関する基礎的検討-親面接による質的研究- (単著)「第 37 回日本関係学会大会研究発表、関係学研究に掲載 【著書】 ・生活事例から始める保育内容総論 (共著)青踏社(2014) ・生活事例から始める保育原理 (共著)青踏社・(2015) ・保育の計画と評価 (共著)萌文書林・(2018) ・保育する力 (共著)ミネルヴァ書房・(2018) ・「保育内容「言葉」指導法(共著)ミネルヴァ書房(2018) ・保育者論(共著)萌文書林(2020) ・表現指導法(共著)萌文書林(2020) ・保育教職実践演習(共著)萌文書林 (2023) 【その他】 【資格】 ・幼稚園教諭一級免許 ・小学校教諭一級免許 ・臨床発達心理士
所属学会	日本保育学会・日本臨床発達心理士会 ・日本発達心理学会・日本心理劇学会（理事）・日本関係学会（事務局）・日本人間関係学会
主な社会活動	・小田原市・箱根町 早期発達・保育巡回相談員 ・社会福祉法人鎌倉すこやか会 保育園みつばち 監事 ・神奈川県教育委員会新採用職員研修指導員 ・湘南心理研究会「コスモスの会」運営委員 ・神奈川県児童福祉員議会委員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	特任 講師
氏名（フリガナ）	武山 美子（タケヤマ ヨシコ）
最終学歴	神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科（保健福祉学専攻）修了
保有学位	修士（社会福祉学）
主な職歴	大妻女子大学助教（2015 年） 小田原短期大学特任講師（2019 年）
専門分野	介護福祉学（地域福祉学、福祉教育学、高齢者福祉）
研究テーマ	高齢者福祉 ボランティア活動
担当授業科目	社会福祉概論 子ども家庭福祉 子ども家庭支援論
教育研究業績	【論文】 ・「保育士養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究(1)～実習事前体験としてのボランティア活動～（共著）」（小田原短期大学紀要・第 51 号 2021 年） ・「保育者養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究（2）－子育て支援センターでのボランティア活動を中心に－（共著）」（小田原短期大学紀要 第 52 号・2022 年） ・「保育者養成課程における『ボランティア活動』の授業に関する研究（3）－コロナ禍における物を介したボランティア活動－（共著）」（小田原短期大学紀要・第 53 号 2023 年） 【著書】 ・「第 32.33.34.35 回介護福祉士全国統一模擬試験解説集 第 1 回基礎編 第 2 回応用編（共著）」（株式会社テコム・2020 年・2021 年・2022 年・2023 年度） ・「介護福祉士国家試験 2018 合格さん（共著）」（メディカ出版・2017 年） 【その他】 ・『保育養成課程における実習事前体験としての「ボランティア活動」② －子育て支援センターでの活動を通して－（共著）』（第 74 回日本保育学会・2021 年） ・『保育者養成課程における実習事前活動としての「ボランティア活動」③－コロナ禍における物を介しての地域貢献－（共著）』（第 75 回日本保育学会・2022 年） ・『コロナ化を経たコロナ禍を経た保育者養成課程におけるボランティア活動の展開―対面・非対面の手法を組み合わせた地域貢献―（共著）』（第 76 回日本保育学会・2023 年） ・『Understanding the Media Landscape Surrounding Children – A Survey of current status and Issues –（共著）』（第 44 回 国際幼児教育学会 タイ・バンコク編・2023 年） 【資格】・介護福祉士・介護支援専門員・介護教員講習会修了
所属学会	日本介護福祉学会・日本保育学会
主な社会活動	・NPO 法人オーバル

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	教授
氏名（フリガナ）	佐藤 みどり （サトウ ミドリ）
最終学歴	お茶の水女子大学大学院人文科学研究科舞踊教育学専攻 修士課程修了 放送大学大学院文化科学研究科文化科学専攻(人間発達科学) 修士課程修了
保有学位	文学修士 , 修士（学術）
主な職歴	国際武道大学体育学部助手 (1984 年) 国際武道大学体育学部教授 (2000 年) 小田原短期大学教授 (2015 年)
専門分野	教育学（舞踊教育, 幼児教育・保育）
研究テーマ	舞踊創作に関する実践研究, 「身体表現」科目の学習内容と成果
担当授業科目	身体表現Ⅰ 身体表現Ⅱ 卒業研究（ゼミナール）
教育研究業績	【論文】 ・「保育者養成課程における「身体表現」科目の学習内容の検討-アクティブラーニングに視点を置いた分析-(単著)」淑徳大学短期大学研究紀要第 57 号・2017 年 ・「保育者養成課程における身体表現科目の学習成果-コロナ禍における互いの距離と深い学びに関する一考察（単著）」小田原短期大学研究紀要 52 号・2022 年 【著書】 ・「教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）」萌文書林, 2018 年 ・「アクティブラーニング対応～乳児保育（共著）」萌文書林, 2018 年 ・「感性を育て、表現の世界を拓く表現指導法（共著）」萌文書林, 2020 年 【その他】 ・「保育現場につながる“深い学び”とは～保育者養成課程「身体表現」授業の実践とその成果～（単著）」女子体育 vol.61-4/5, 2019 年 ・ポスター発表（共同）“How to Evaluate Creative Dance: Comparative Study between Teachers and Learners ” (IAPESGW World Congress/第 18 回国際女子体育会議・Barry 大学) May17-21, 2017 ・舞踊公演（合同）振付・出演：さとみどり 現代舞踊協会主催「モダンダンス 5 月の祭典」（めぐろパーシモンホール） 2019 年 PROJECT NAO PRESENTS「DANCE 創世紀」（北沢タウンホール） 2021 年 Free Package vol.36 SUN ARTS ダンスシリーズ（俳優座劇場） 2022 年 日本オルフ音楽教育研究会主催「カール・オルフの音楽教育セミナー」講師 2022 年 第 64 回全国舞踊コンクール 創作舞踊部 第 3 位受賞（東京新聞主催） 【資格】 ・小学校教諭 1 級普通免許状 ・中学校教諭 1 級普通免許状(保健体育) ・高等学校教諭 2 級普通免許状(保健体育)
所属学会	日本体育学会, 舞踊学会
主な社会活動	現代舞踊協会員, 舞踊作家協会員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	大浦 賢治（オオウラ ケンジ）
最終学歴	早稲田大学大学院教育学研究科博士後期課程単位取得退学
保有学位	修士（文学・教育学）
主な職歴	東京立正短期大学講師（2011 年） 小田原短期大学講師（2016 年） 准教授（2020 年）
専門分野	心理学（発達心理学 教育心理学 教育方法）
研究テーマ	認知発達 教育方法 保育学
担当授業科目	教育の方法と技術 職業と社会Ⅰ・Ⅱ
教育研究業績	【論文】主なもの ・「選言 3 段論法に関する推論様式の発達（単著）」（「教育心理学研究」第 60 号 2012 年 日本教育心理学会） ・「子どもの条件文解釈における実用的推論スキーマ説の妥当性（単著）」（「発達心理学研究」第 25 号 2014 年 日本発達心理学会） ・「ピアジェ理論に基づく幼児教育の特質とその課題－松井とカミイの比較を中心に－（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 53 号 2023 年 小田原短期大学） 【著書】主なもの ・「実践につながる新しい保育の心理学（編著）」（ミネルヴァ書房 2019 年） ・「保育士受験対策講座 保育の心理学（単著）」（三幸カレッジ 2019 年） ・「実践につながる新しい教養の心理学（編著）」（ミネルヴァ書房 2022） ・「実践につながる新しい乳児保育（編著）」（ミネルヴァ書房 2023 年） 【その他】主なもの ・「Children's natural responses to reduced array selection task」（Annual Conference of Korean Psychological Association in Korea 2019） ・（研究資料）「幼児教育に対する ICT 活用の現状と課題（単著）」（「小田原短期大学研究紀要」第 52 号 2022 年 小田原短期大学） 【資格】 ・中学・高校英語科専修免許状（東京都教育委員会） ・国連英検 A 級（公益社団法人日本国際連合協会） ・保育士（試験合格：埼玉県）
所属学会	日本心理学会 日本発達心理学会 国際幼児教育学会
主な社会活動	令和 4 年度神奈川県保育士等キャリアアップ研修講師（障害児保育 2022 年） 令和 5 年度東京都保育士等キャリアアップ研修講師（幼児教育 2023 年）

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	山本陽子（ヤマモトヨウコ）
最終学歴	聖和大学大学院（現関西学院大学大学院）教育学部 教育学研究科 博士前期課程 修了
保有学位	教育学（修士）
主な職歴	横浜市小規模認可保育園・園長（2013 年） 聖セシリア女子短期大学 専任講師（2017 年） 小田原短期大学 准教授（2021 年～）
専門分野	教育学・保育学
研究テーマ	多文化共生保育・インクルーシブ保育
担当授業科目	教育実習・教育実習指導・保育・教職実践演習
教育研究業績	【論文】（主なもの） ・「幼稚園教育実習における実習記録の意義－幼稚園教諭による添削箇所への分析－（共著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 43 号・2017 年） ・「保育者としての資質について－実習生の実態から－（共著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 43 号・2017 年） ・「保育学生の保育教材研究に関する一考察－モンテッソーリ教具を中心に－（単著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 44 号・2018 年） ・「多文化共生保育の現状と課題（単著）」（聖セシリア女子短期大学紀要第 45 号・2019 年） 【著書】 ・谷口征子ほか編著「実践につながる新しい教育・保育実習」大浦賢治ほか編著 ミネルヴァ書房 2021 担当箇所 ステップ 3.4.30.31.32 ・大浦賢治ほか編著「実践につながる新しい乳児保育」大浦賢治ほか編著 ミネルヴァ書房 2022 担当章 2.9.18.20 章 ・教育開発研究所編「1 年間の園長式辞・あいさつ実例 134」教育開発研究所・2022 担当ページ p28.29. 38.39.236.237 ・野津直樹ほか編著「保育・教職実践演習」萌文書林 2023 担当章 2 章 1.2（p38-50） ・中山大嘉俊編「保育園・幼稚園・こども園 1 年間の園だより巻頭言実例 72」中央精版印刷 2023 担当ページ 34・35 頁 86・87 頁 【その他】 ・多文化共生保育の現状と課題」（日本乳幼児教育学会 第 29 回大会 2019） 【資格】・幼稚園教諭専修免許 ・保育士資格
所属学会	日本保育学会 日本乳幼児教育学会 日本保育者養成教育学会
主な社会活動	・横浜市内保育園における園内研修講師・保育士キャリアアップ研修講師など

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	富金原 光秀（フキンバラ ミツヒデ）
最終学歴	横浜国立大学大学院教育学研究科
保有学位	修士（教育学）
主な職歴	豊岡短期大学講師（2014 年） 姫路大学講師（2016 年） フェリシアこども短期大学講師（2018 年） 小田原短期大学准教授（2022 年）
専門分野	教育学
研究テーマ	教材研究 教育方法 表現領域
担当授業科目	保育実習指導ⅠⅡⅢ
教育研究業績	【論文】 ・「色相環の絵の具」色を空間認知できる学習教材の開発：PCT 国際特許：新案 絵の具の持つ色の空間認知機能＝学習教材としての使用データ立証（共著）大学美術教育学会誌第 44 号 2012 年 ・西洋現代思想にみる身体性の問題と美容文化史研究-人類学的視点からのアプローチ（単著）小池学園研究紀要第 10 号 2012 年 ・「発達の最近接領域における保育・教育方法について（単著）」豊岡短期大学論集第 13 号 2017 年 ・「子どもの自律と協働を支えるオランダのイエナプラン教育とその方法について（単著）」小田原短期大学研究紀要第 47 号 2017 年 ・「土の伝統文化を理念とした幼少期における造形教育の意義～民藝文化の興りとイギリス陶芸の道を通して～（単著）」鶴川女子短期大学国際センター研究紀要第 2 号 2017 年 ・「保育内容『表現』指導法における評価に関する研究～ポートフォリオ記録による内発的評価の有効性について～（単著）」豊岡短期大学論集第 14 号 2018 年 【著書】 ・「こどもと造形（共著）」豊岡短期大学 2017 年 ・「こどもと造形表現Ⅰ（共著）」豊岡短期大学 2017 年 ・「幼児と表現（共著）」インプレス R&D 2018 年 【その他】 ・幼児・児童向け学習教材「色相環絵の具」のデザイン及び開発特許 5565813 号/PCT 国際特許取得 WO2010/084873 号 2012 年 ・日本経済新聞連載『キャンパス発 この一品』『色の関係使いながら学べる絵の具セット』掲載 2017 年 ・世界幼児教育機構（OMEP）アジア太平洋京都会議パンフレット及び表紙デザイン制作 2019 年
所属学会	大学美術教育学会 日本保育学会 保育者養成教育学会 OMEP
主な社会活動	・子育て支援事業 ・世界幼児教育機構（OMEP）事業 ・東京おもちゃ美術館事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師（特任教員）
氏名（フリガナ）	石黒 芙美代（イシグロ フミヨ）
最終学歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程芸術学専攻美術教育修了
保有学位	修士（美術）
主な職歴	小田原短期大学専任講師（2021 年）
専門分野	美術教育
研究テーマ	絵とことばの関係
担当授業科目	造形表現Ⅰ、造形表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「仮面の芸術性と教育的意味」（単著）（『アジア文化造形学会誌』(16)、2018 年） ・「翻訳絵本の翻訳国研究 ―教育における文化的多様性に着目して―」（単著）（『小田原短期大学研究紀要』(52)、2022 年） ・「造形表現科目で絵本を扱うことの可能性―「イメージ生成」と「造形要素・構成方法」に着目して―」（単著）（『美術教育学研究』(56)、2024 年） 【著書】 ・『こんなはなしがあったんだ 少数言語の民話絵本(1)』（単著）（パブリック・ブレイン、2020 年） ・『教育・保育実習に役立つ 部分実習指導案集』（共著）（萌文書林、2022 年） ・『アートベース・リサーチの可能性：制作・研究・教育をつなぐ』（共著）（勁草書房、2023 年） ・『こんなはなしがあったんだ 少数言語の民話絵本(2)』（単著）（パブリック・ブレイン、2024 年） 【その他】 ・企画展『少数言語の民話世界 ―絵本からジンポー語、セーシェル・クレオル語、ブリヤート語の民話をのぞいてみよう―』開催（東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1 階資料展示室、2020 年） ・東口図書館文化講座「少数言語の民話絵本制作の可能性」講師（小田原駅東口図書館、協力：小田原短期大学図書館、乳幼児研究所、2021 年） ・公開ディスカッション「昔話を伝えるということ」登壇（『耳と目で楽しむ昔話：ブリヤート、カチン、チベット』、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所、2023 年） 【資格】 ・中学校教諭専修免許状（美術）、高等学校教諭専修免許状（美術、工芸）
所属学会	大学美術教育学会、絵本学会、環境芸術学会
主な社会活動	公益財団法人朝日新聞文化財団 2020 芸術活動特別助成対象事業

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	澤田 優子（サワダ ユウコ）
最終学歴	武蔵野音楽大学大学院音楽研究科器楽専攻修士課程修了
保有学位	修士（音楽）
主な職歴	小田原短期大学 助教（2020 年） 小田原短期大学 専任講師（2023 年）
専門分野	器楽（フルート）、音楽表現
研究テーマ	フルート演奏による実践、保育現場における聴く活動
担当授業科目	音楽表現Ⅰ、音楽表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「J.J.Quantz 著『フルート奏法試論』における前打音についての考察（単著）」（『武蔵野音楽大学大学院修士論文』、2015 年） ・「音楽のリラクセーション効果についての一考察（共著）」（『山梨学院短期大学研究紀要』第 36 巻、2016 年） ・「保育現場におけるフルート演奏に関する研究(1)～年齢別にみる子どもの聴く様子～（共著）」（『小田原短期大学研究紀要』第 53 号、2023 年） 【著書】 ・『教育・保育実習に役立つ部分実習指導案集（共著）』（萌文書林、2022 年） ・『保育のためのやさしい子どもの歌—弾き歌い・合奏・連弾・合唱—（共著）』（ミネルヴァ書房、2023 年） 【その他】 ・日本フルート協会・東京部会主催『第 40 回フルートデビューリサイタル』出演（2013 年 7 月、東京オペラシティ・リサイタルホール） ・山梨県主催『第 14 回やまなし県民文化祭 音楽祭』出演・奨励賞（2014 年 9 月、山梨県民文化ホール） ・『フルートとハープで奏でるフランスの風』企画・出演（2022 年 5 月、山梨県立図書館多目的ホール） ・『武蔵野音楽大学大学院生と卒業生による ジョイントリサイタル』出演（2023 年 7 月、小田原三の丸ホール）
所属学会	日本保育学会、山梨音楽療法研究会、日本オルフ音楽教育研究会、日本フルート協会
主な社会活動	・幼稚園、保育園、子育て支援センターでの演奏活動 ・小学校・中学校でのフルート実技講習 ・小田原短期大学乳幼児研究所研究員

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	専任講師
氏名（フリガナ）	水島 徳彦（ミズシマ ナルヒコ）
最終学歴	東海大学大学院 体育学研究科体育学専攻 博士課程後期 修了
保有学位	修士（体育学）、博士（体育学）
主な職歴	小田原短期大学 食物栄養学科 非常勤講師（2022） 小田原短期大学 保育学科 通信教育課程 専任講師（2023）
専門分野	体育哲学、教育学
研究テーマ	スポーツ倫理学、教育学
担当授業科目	健康・スポーツ実技、健康・スポーツ理論、健康
教育研究業績	【論文】 ・「スポーツ世界における道徳法則の検討：カント哲学を中心として」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 42 巻 1 号，2020） ・「スポーツ行為者の道徳に関する内的原理の深淵：カント倫理学における「嫌々の念」を手がかりに」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 42 巻 2 号，2020） ・「スポーツ行為者の認識過程における「意思」と「意志」について：カント倫理学の可能性に関する一考察」（共著）（体育・スポーツ哲学研究 43 巻 2 号，2021） ・「競技スポーツにおいて「悪をなす」とは：後期カント倫理学を手がかりに」（東海大学紀要体育学部第 52 号，2022） ・川谷の「スポーツマンシップ」概念の批判的検討：カント倫理学を手がかりに（小田原短期大学研究紀要 54 号，2024） 【著書】 ・「教育・保育実習に役立つ 部分実習指導案（分担執筆）」（萌文書林、2024 年） ・「感じて楽しむ身体表現～保育者のための 15 のアイデア～（分担執筆）」（萌文書林、2024 年） 【その他】 «セミナー» ・「「スポーツ倫理」という問題と「カント倫理学」の射程—学位論文の展望に向けて—」（2023 年 1 月 26 日、日本体育・スポーツ哲学会オンラインセミナー） «受賞» ・日本体育・スポーツ哲学会 奨励賞（2022） 【資格】 ・高等学校教諭専修免許状（保健体育）・中学校教諭専修免許状（保健体育）
所属学会	日本体育・スポーツ・健康学会、日本体育・スポーツ哲学会、教育哲学会
主な社会活動	

教 育 研 究 業 績 書

所属学科	保育学科 通信教育課程
職名・職位	特任助教
氏名（フリガナ）	佐藤 穂花（サトウ ホノカ）
最終学歴	日本体育大学大学院 体育科学研究科 体育科学専攻 博士前期課程修了 日本体育大学大学院 体育学研究科 体育学専攻 博士後期課程在学中
保有学位	修士（体育科学），博士（体育科学）*2025 年 3 月取得見込み
主な職歴	日本体育大学 スポーツ文化学部 助手（2018 年） 東京医科歯科大学 スポーツサイエンスセンター特別業務支援職員（2019 年） 日本体育大学 体育学部 助教（2021 年） 共立女子大学 非常勤講師（2021 年～現在に至る） 桐蔭横浜大学 非常勤講師（2023 年～現在に至る） 小田原短期大学 保育学科 助教（2023 年～現在に至る）
専門分野	教育学（健康教育・スポーツ教育），衛生学・公衆衛生学
研究テーマ	子ども，健康，生活習慣，運動習慣，ICT，ストレス
担当授業科目	身体表現Ⅰ，身体表現Ⅱ，健康・スポーツ実技
教育研究業績	【論文】 ・「戦後の空手道復興に関する一考察：雑誌『SPORT KARATE からて』の分析をととして（共著）」（日本体育大学オリンピック文化研究所，オリンピックスポーツ研究 4・2019 年） ・「中学生におけるスマートフォン使用に関する家庭内ルールの必要性～2019 年と 2020 年長期休校期間後に実施した調査結果からの検討～（単著）」（日本体育大学大学院・2020 年） ・「ICT を用いた武道・伝統芸能におけるデモンストレーションビデオの効果検証：海外在住者を対象としたアンケート調査からの検討（共著）」（運動とスポーツの科学 27（2）・2022 年） 【著書】 ・「大学体育・スポーツ学への招待 ワークブック-実践的な学びのために（共著）」（有限会社ナップ・2022 年） 【その他】 ・「平成 29 年度中学校武道授業（空手道）指導法研究事業」（指導者） ・「総合型地域スポーツクラブ 東深沢スポーツ・文化クラブ（空手道）」（指導者） ・令和 3 年度日本体育大学学術研究補助費 就寝前行動が中学生の生活習慣及びメンタルヘルスに及ぼす影響の実態解明-就寝前のスマートフォン使用状況からの検討-（研究補助金） 【資格】 ・中学校教諭専修免許状，高等学校教諭専修免許状（保健体育）
所属学会	日本・運動スポーツ科学学会，日本学校保健学会，日本ヘルスプロモーション学会
主な社会活動	御蔵島村立 御蔵島小・中学校における健康指導講師